

かいじゅう

伊勢朋矢
監督作品

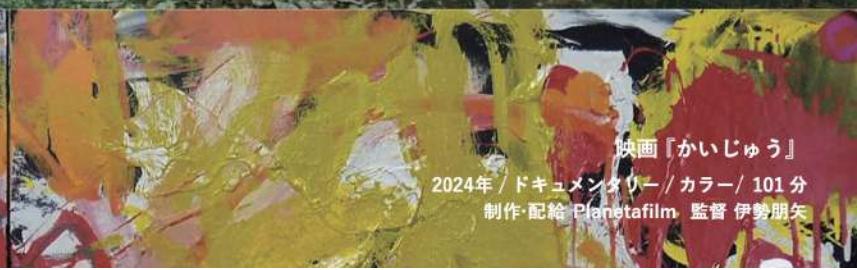
画家 西村一成



スヌムトコロニエガアツテ
サガルトコロニモエガアツテ
ドコヘニゲテモエニオワレ
ボクハタブン
エニクイツブサレルダロウ



う



映画『かいじゅう』

2024年 / ドキュメンタリー / カラー / 101分
制作・配給 Planetafilm 監督 伊勢朋矢

僕は日々ひたすら絵を描きつづけている。 呼吸し、食べ、排泄し、眠るのと同じようにだ。

線は僕の肉体の延長としてうねり、

色は僕の精神の明滅を激烈に映し出す。

それは世界との直感的な交錯によって瞬発的に繰り出される。

描きあげた末に僕は疲れ果てて倒れ込む。

そのとき絵は、僕と不可分な、一人の人間のナマの姿だ。

しかし決して個人的な表現として完結はしない。

人は抗うことのできない天変地異の世界を生き抜いているが、

いかに時空的に隔たっていようと、

その波動は今ここに伝わってくる。

僕にできることといえば、その波を感受し、祈ることしかない。

だから僕の絵の中に彫り出される図像は、

祈らずにいられない根源的衝動が形づくる現実だ。

どんな状況であれ、人はこの世界を必要としている。

僕も日々ひたすら世界を感じつづけている。

僕自身と、そして誰かの生のために。

切実に生まれつづける絵々は、
唸り声と搔き鳴らされたギターのまにまに
うつとり身を委ねていてる。
「私たちの人生つていったいなんだろう」
これほどまでに雑音のないドキュメンタリーを見
見てこがない。

内田也哉子（文筆家）

かいじゅう

画家 西村一成 Nishimura Issei

1978年生まれ、愛知県在住。西村一成は甥っ子や姪っ子から「かいじゅう」と呼ばれている。独学で絵を描き始めたのは20歳の頃。自宅でときに唸り声をあげながら、キャンバスに絵の具を塗りたり、独白記のごとく日々絵を描く。シェル美術賞、FACE損保ジャパン日本興亜美術賞ほか多数入賞・入選。



出演 | 西村一成

音楽 | ロケット・マツ（パスカルズ）

撮影応援 | 水野宏重 整音 | 永峯康弘 音響効果 | 稲見浩三 ダビングスタジオ | 小田崇 カラーグレーディング | 山口竜 オンラインエディター | 森泉洋平 監督助手 | 植木栄美 制作デスク | 加藤明香 広報 | 増野浩平 宣伝アート | 遠藤郁美 デザイン | 森岡寛貴 プロデューサー | 牧野望 伊勢朋矢 編集 | 太田一生 監督・撮影 | 伊勢朋矢

【画家・西村一成 一年の記録】

初めて会ったとき、一成さんは「午前中なら調子がいいから、大丈夫かもしれない」と言った。夕方は苦手らしい。不安になるという。だから最初は「午前中の1時間くらいだけ撮影してみましょうか」そんな約束をして別れた。

あれから一年、僕（伊勢朋矢）は西村家に通い続けた。午前中1時間だけの撮影は、2時間3時間……と伸びていった。カメラはただただ回り続け、西村一成の日常は1本の映画になった。映画のタイトルは一成さんの甥っ子がつけたあだ名にした。

『かいじゅう』 監督・撮影 伊勢朋矢

（映画『日日芸術』、Eテレ『no art, no life』）

制作・配給 | Planetafilm

[問合せ] Planetafilm Tel. 03-6455-3366

Mail. space@planetafilm.co.jp

<https://planetafilm.co.jp>



上映情報

8/10(土)~16(金)名古屋シネマスコーレにて上映

全国共通特別
前売券発売中 税込
1,400円

当日
鑑賞券 一般(税込)
1,700円 大学・専門(税込)
1,300円 シニア(税込)
1,200円 障がい者(税込)
1,100円

JR名古屋駅太閤通口・ピックカメラ南西角
シネマスコーレ
052-452-6036

